

感染症の予防のための 情報提供について

病名	細菌性赤痢				
年齢及び性別	11歳 ・ 女性				
職業	小学生				
住所	鈴鹿市				
発病年月日	平成30年2月18日				
診断年月日	平成30年2月26日				
【患者発生の経過】					
2月18日 腹痛がみられた。					
19日 腹痛、水様性下痢便、発熱(40.1℃)がみられ、津市内の病院に緊急入院となった。					
26日 20日の便検査の結果から細菌性赤痢と診断された。					
26日現在、患者は退院し、軽度腹痛、軟便がみられるものの快方に向かっています。					
【防疫処置】					
接触者の健康状況調査、検便の実施及び消毒の指導（鈴鹿保健所）					
【県内の細菌性赤痢患者発生状況】					
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	※平成30年
患者	2	0	1	0	1
保菌者	0	0	0	0	0
計(感染者)	2	0	1	0	1
※平成30年1月1日～平成30年2月26日現在まで本件を含む					

【自分できる予防の対策】

細菌性赤痢感染症は、赤痢菌に汚染された食物・水・手指等を通じて口から感染（経口感染）しますので、以下のことに注意しましょう。

- ① 食前・用便後には石けんを用いて、手を洗いましょう。
- ② 冷凍食品等は、食材の中まで火がとおるよう十分加熱しましょう。
- ③ 海外旅行中や帰国後に腹痛・下痢等の症状があった場合は、速やかに検疫所や医療機関の健康診断を受けましょう。